

KCCAC メールマガジン第3号 (2023年1月30日発行)

こんにちは、京都気候変動適応センター

(KCCAC/Kyoto Climate Change Adaptation Center) です。

このメールマガジンでは、KCCACの活動、

気候変動に関するコラム、

関連情報などをお届けします。

【第3号目次】

1. KCCAC オンラインシンポジウム

「気候変動と農業－京都における課題－」を開催します

2. KCCAC 活動報告

3. KCCAC メンバーコラム

4. 関連情報

5. 編集後記

1. KCCAC オンラインシンポジウム

「気候変動と農業－京都における課題－」を開催します

気候変動による農業への影響やその対策について議論します。

これからの京都の農業の在り方について、一緒に考えてみませんか？

申込はコチラから→<https://kccac.jp/symposium/>

■日時

2023年2月20日(月) 14:00–16:00

■プログラム

(1) 基調講演

・「気候変動と種子の役割—適応的緩和への試論」

京都大学大学院農学研究科 研究員 名誉教授 梅津 千恵子氏

・「気候変動に対応した野菜の品種育成」

タキイ種苗株式会社 開発部 課長 宇野 浩克氏

(2) 京都気候変動適応センターからの報告

京都気候変動適応センター センター長 安成 哲三

(3) パネルディスカッション

「京都の農業における気候変動影響と適応に関する課題」

【パネリスト】

・タキイ種苗株式会社 開発部 課長 宇野 浩克氏

・京都大学大学院農学研究科 研究員 名誉教授 梅津 千恵子氏

- ・京都府農林センター作物部 部長 岡留 和伸 氏
- ・農研機構作物影響評価適応グループ グループ長 西森 基貴 氏
- ・京都気候変動適応センター センター長 安成 哲三

2. KCCAC 活動報告

2022年11月～2023年1月のKCCACの活動の一部を紹介します。

(1) 「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式・フォーラムへのポスター出展

2022年11月14日(月)に開催された「KYOTO 地球環境の殿堂」に、KCCACがポスター出展を行いました。

また、センター通信創刊号 (<https://kccac.jp/magazine/>) を配置し、多くの方々に手に取っていただきました。

(2) 清水寺へのヒアリング

2022年11月18日(金)、KCCACのメンバーが清水寺を訪問し、

気候変動が境内の植物等に及ぼしている影響や、

お寺が直面している獣害の問題等について

ヒアリング調査を実施しました。

当日は、イノシシが上ってきたという境内の急な斜面を見学したり、

色づきや葉の広がり方が変わってきたというモミジの様子などを見せていただきました。

(3) 環境省国民参加事業・中間報告会での事業報告

2022年12月6日(火)、全国の多くの地域気候変動適応センターが環境省から委託を受け進めている、「国民参加による気候変動情報収集・分析事業」の中間報告会がありました。

KCCACからも、事業の進捗について報告を行いました。

(令和4年度の取組についてはコチラ→<https://kccac.jp/torikumi/>)

(4) 丹後地域における農業従事者の方々へのアンケート調査

KCCACは令和4年度の取り組みの重点項目の1つに、

「コメへの気候変動影響調査と必要な対策の検討」を掲げています。

このうち、「必要な対策の検討」について、京都府内で稲作が多く行われている丹後地域の農業従事者の方々を対象としたアンケートを実施いたしました。

(実施期間：1/7(土)～1/27(金))

アンケートでは、日々の農作業で感じる気候変動影響や、

適応策に関する皆様のお考えについて、質問しています。

現在、多くの回答をいただいております。

ご協力くださいました皆様に、厚く御礼申し上げます。

調査結果は追って、ご報告いたします。

（５）他地域の気候変動適応センターとの情報交換・連携

KCCAC は、他地域の地域気候変動適応センターとの交流、情報交換の場に定期的に出席しています。12月には、国立環境研究所気候変動適応センター主催の以下の会に出席しました。

- ・地域気候変動適応センター定例会議（12月8日（木））

（６）気候変動適応近畿広域協議会への出席

KCCAC は、近畿という広域において共通する気候変動適応に関する課題を扱う広域協議会に参加しています。

近畿広域協議会内には3つの分科会があり、それぞれ

「暑熱」「ゲリラ豪雨」「お茶」をテーマに議論しています。

2022年11月～2023年1月は、以下の分科会に出席しました。

- ・お茶対策分科会（12月19日（月））
- ・暑熱対策分科会（12月22日（木））
- ・ゲリラ豪雨対策分科会（1月11日（水））

（７）運営委員会の開催

2023年1月23日（月）、令和4年度第3回となる

KCCAC 運営委員会を開催しました

KCCAC からは、事業の進捗状況を報告し、

運営委員から様々なご意見、コメントをいただきました。

以上の今後の進展や、他の取組についても、

皆様に情報をお伝えしていきます。

*公式ホームページはコチラ↓から！

<https://kccac.jp/>

3. KCCAC メンバーコラム

気候変動適応に関する身近なトピックについて、

KCCAC メンバーのコラムをお届けします。

今回は、KCCAC の松浦（京都市環境政策局地球温暖化対策室）のコラム、

「京都の文化と気候変動」です。

<https://kccac.jp/member-column/column230130/>

4. 関連情報

○「京都府地球温暖化防止活動推進員（第 11 期）」現在募集中です。

応募は 2 月 16 日（木）までです。

<https://www.pref.kyoto.jp/tikyu/suisinin/boshu.html>

○環境連続セミナー（第 25 回）「気候変動のおはなし－環境活動家 谷口たかひさ氏講演会－」（2 月 12 日、主催：京と地球の共生府民会議）

<https://www.pref.kyoto.jp/earth-kyoto/kankyorennzokusemina.html>

○オンラインウェビナー「京都の『豊かさ』をはぐくむ脱炭素で持続可能な社会に向けて」（2 月 16 日、主催：京都府）

<https://www.pref.kyoto.jp/tikyu/1193194307599.html>

5. 編集後記

2023 年が始まりました。

昨年公表された IPCC 第 6 次報告書は、2025 年までに

世界の温室効果ガス排出量を全体で減少に転じなければ

いわゆる 1.5 度目標は達成できない見込みだとしています。

先週の寒波到来で、京都は交通網の脆弱さを露呈することとなりました。

あと 2 年の間に、どれだけ世界の取り組みを進めていけるかが、

私たちの将来を大きく変えることとなりますね。

KCCAC は、皆様とともに、

気候変動の進行を抑える取組も視野に入れつつ、

既に現れている影響の下でも人々が安心して暮らせる社会を目指し、

活動を続けていきます。

引きつづき、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

一原（地球研）

* KCCAC メールマガジンへの感想はこちらへお寄せください。

<https://kccac.jp/contact/>

メールマガジンの登録解除はこちらからお手続きください。

<https://kccac.jp/kaijo/>

=====

京都気候変動適応センター（総合地球環境学研究所内）

<https://kccac.jp/>

contact@kccac.jp

=====